



# ちゅーりっぴぐみだより

尚徳福祉会 日野保育園

2020年3月

まだまだ昼夜の寒暖の差に気が抜けませんが、ぽかぽかとあたたかな陽気が春を感じさせてくれます。ちゅーりっぴ組も残りわずかとなりました。この一年間で、子どもたちは一人一人それぞれたくましく成長してくれました。進級へ向けた準備を進めながら、残りの日々を楽しく過ごしていきたいと思ひます。



## 「★クラスの様子★」

進級に向けて、たんぼぼ組で遊んだり、歩行中心になった子は短い距離を保育者と手を繋いでお散歩したりしています。また、「お片付けしよう♪」と声を掛けると、玩具や絵本を所定の場所に片付け、「お外に行こう!」と声を掛けると自分の靴下を取りに行き、自分で履こうとする子や、『履かせて!』と差し出す姿が見られます。そしてスノコに出ると自分の靴を持ってきて履こうとする仕草をしています。自分の物が分かるようになり、身支度も自分たちなりにやってみようとする気持ちが現れ、成長を感じます。大好きな給食では、味の好みが出てきましたがお友達や保育者が食べている姿を見て食べることもあります。手掴みが中心ですが、スプーンですくって口へ運ぶことも増えています。遊びも大きく変わり、室内外で興味の向くまま活発に体を動かしています。引き続き、一人一人の『今』を見つめながら、元気に楽しくすごしていきたいと思ひます。



## 「♪異年齢での交流♪」

園庭では、お兄さんお姉さんと日頃からおままごとをしたり、手を繋いでもらったり関わりを喜んで楽しんでいきます。雨の日にはお部屋に遊びに来てもらい異年齢交流をしています。ちゅーりっぴ組は入園当初から人気者で、一緒に遊んだり、お世話をたくさんしてもらったり、微笑ましい関わり合いがたくさん見られました。これは決して大人には教えられない、子ども同士の育ち合ひで、これからも大切にしていきたいです。

## ★一年間の振り返り★

初めての保育園生活で不安だった子どもたちですが、園生活を通してどんどん成長を遂げていく子どもたち。お友達と手を繋いだり、一緒に同じことをして笑い合ったりと可愛らしい姿をみせてくれるようになりました。また、歩行ができるようになり行動範囲が広がったことで遊びも変わってきました。入園当初は、見て楽しんでいた手遊びも今では歌を口ずさみながら手を動かし一緒に楽しんでいます。入園当初とは違い、担任との関係が深まるにつれて見慣れない保育者や、登園時に涙することも増えた時期もありましたが、成長過程において大切なことです。そんな一人ひとりの成長を見守ることができ、保護者の方々とその感動を分かち合えた事、とても嬉しいです。

一年間、保護者の皆様にはご理解ご協力頂き、本当にありがとうございました。

今後の更なるお子さんの成長を願いながら見守り続けたいと思ひます。

担任一同